

令和5年6月15日付【日本水道新聞】  
水コン協関西支部 全体協議会  
＜人材育成・確保に注力＞

## 人材育成・確保に注力

### 水コン協関西全体協議会

全国上下水道コンサルタント協会関西支部は5月29日、第40回通常全体協議会を大阪市内で開き、令和4年度事業報告や5年度事業計画など4議案を審議、承認した。今年度は支部活動を本格的に再開し、育成事業や人材確保支援などの事業を行っていく。

昨年度は、最も注力する育成事業において、兵庫県まちづくり技術センターや和歌山県などが主



押領司支部長

催する講習会等に講師を派遣。姫路市内での貯留幹線・ポンプ場建設工事の見学会なども開催した。また、芦屋市と災害時支援協定を締結した。今年度は講習会の現地・オンライン併用開催を常態化するほか、コロナ禍で中止してきた女性懇談会や若手懇談会を再開させる。また、年度内に支部HPをリニューアルし、事業活動報告など掲載情報の充実を図る。

あいさつした押領司重昭支部長（三水コンサルタント取締役）は、コロナ禍を経た業界の変化に触れ「オンライン技術が急速に発展する一方、人材不足の問題が顕在化した。また、DBOなど民間企業が主体的な役割を果たす事業運営方式の採用が増加している。われわれも水コンの立ち位置をしっかりとアピールしていきたい」と強調した。